

4 議事録（連絡会の中ででた主な意見や意見交換内容など）

○委員長及び副委員長の決定について

避難施設の運営委員長について、今まで三自治会で順番に就いていたが、避難者のほとんどは大戸町内会と想定されるので、今年度も大戸町会自主防災会にお願いすることとした。→(大戸町内会)承知した。

○マニュアルの確認について

前回(2023年2月22日)配布した資料を参照してほしい。今回の連絡会の議事録送付時にも同封する。

今年度は「避難施設開設・運営マニュアル」の更新はなし

○避難施設開設訓練の内容・日程について

2023年10月28日(土)13:30 or 14:00から90分程度 開設訓練を実施する。

(後日、学校側と開始時間と訓練内容を調整し、全体に周知する)

資機材(マンホールトイレや発電機、テント等)の確認と操作、備蓄品(水や食料など)の確認と試飲・試食などを中心に行う。

参加者は、防災課2名、指定職員8名、大戸町内会7名、武蔵岡10名、10号棟3名、学校(要調整)を予定

※昨年度は開設訓練を行わなかった。過去5年程度はHUGを中心に、避難施設で起きうる状況の理解と

適切な対応を学んできたが、実際に災害が起きた際の資機材の操作や設営、備蓄品の確認を今回は行う。

※学校側は中学生(最大70名程度)と教職員が参加をする予定であるが、グループ分けも含め要調整。

※備蓄品確認グループと資機材等の確認グループに分けて回していく訓練を想定。

○その他意見等

都営武蔵岡では、建物に「ひび」等が確認されたら避難所への避難ではなく、まずは他の号棟に知人がいればそこに避難させてもらうことを推奨している。

都営武蔵岡や10号棟では、在宅避難等を推奨しているので、ゆくのき学園への避難者はほとんどが大戸町内会と想定されるが、避難施設施設運営委員会は、大戸町内会、都営武蔵岡、10号棟で構成されているので、炊き出し等の避難所の運営には関わってほしい。→(都営武蔵岡、10号棟)承知した。

災害時の受付用紙(避難所の受付簿)が何を書けばよいかわかりづらいので改善を要望する。

→(防災課)持ち帰って防災課で運用面も考慮しながら様式変更を検討させていただく。

(学校)開設訓練について、中学生にも参加させたいので、授業等がある2月3日もしくは10月28日の実施はどうか。→役員の変更等もあり、引き継ぎなども考えると10月28日がい(各町内会)。

倉庫にパーテーションやテント、段ボールベッドなどはあるか。→(防災課)全て倉庫に格納している。

体育館や教室等の避難スペースでの使用を想定しているが、段ボールベッドは、協定に基づき、発災後、各避難所に届けられる予定である。発電機は点検しているか。→(防災課)点検は年1回以上している。

団地に住めない状態になると相当数が避難してくる。どの程度の避難者数を想定しているか。

→(防災課)ゆくのき学園は、倒壊による避難が237人、ライフライン停止による避難が670人と想定している。

(学校)平時から各家庭で3日分の備蓄などを用意してもらえれば、避難する人数は減らせる。被災した時に一番困るのはトイレだと思うので、マンホールトイレの使い方等を全体で確認したほうがよいのではないか。